

滋賀県立大学特定課題

本学の研究の戦略目標は、

滋賀県立大学は、建学の精神に基づき、本学の特長を生かした研究の推進、高度化および活性化を図るために、本学の研究の戦略的目標を以下のとおり定める。

1. 「地域から世界へ」という視点に立ち、地域課題に取り組むとともに、国際的に卓越した研究分野を育成し、地域の発展、人類への貢献を目指す。
2. 「滋賀県」「びわ湖」を研究のフィールドや起点として、先人の歴史や暮らしを探究するとともに、自然と調和する持続可能な社会の仕組みを提案し、地域住民の健康や福祉に寄与する。
3. 産学官民連携や地域ならびに国内連携、国際共同研究など様々な機関・団体との連携を強化し、独創的および実践的研究に取り組み、その成果を社会に還元する。

と定められている。

この目標を達成するために各学部、センターおよび産学官民連携による次のような戦略的な特定課題を定める。

1 環境：琵琶湖をとりまく環境の保全再生に関する研究（通称：琵琶湖モデル構築）

琵琶湖の水質保全、生態系、集水域および周辺環境と暮らしに関する総合的な研究を行い、「地域より世界へ」の視点に立ち、琵琶湖モデルを構築し、世界へ移行することによる国際的な貢献を目指す。

2 人：健康寿命延伸を目指した健康づくりに関する研究（通称：健康寿命延伸）

「滋賀県」は長寿県として知られているが、豊かな高齢化社会を実現するために平均寿命のみならず健康寿命を延伸させることが求められている。「健康寿命」をキーワードに栄養、運動、看護、医工学および住環境などに関する包括的な研究を行う。

3 社会：ICT環境などの社会インフラ整備や多様な人々の参加による地域づくりを進める研究（通称：地域課題解決）

文化、環境、教育、暮らしなど地域社会の抱える様々な問題を解決し、将来の地域住民の豊かな暮らしに寄与する研究を推進する。